

Information イベントカレンダー

■ 黒目川・水族館

- ・日時：10月14日(土) 毎月第2土曜日
9:00~12:00(雨天中止)
- ・場所：黒目川「東林橋」(朝霞市溝沼)
- ・内容：黒目川で魚を捕り、「調査」と「水族館」展示をします
- ・持ち物：川に入れる格好、あれば魚類図鑑
- ・主催：黒目川に親しむ会
- ・協力：埼玉県立いずみ高校釣り愛好会
- ・お問い合わせ：048-466-0916(藤井)
- ・交通：東武東上線「朝霞台」・JR武蔵野線「北朝霞」を下車し、黒目川左岸を上流に向かって徒歩8分

■ 黒目川・秋の川まつり2006 ～ 一日 川の広場 ～

- ・日時：11月12日(日)
11:00~14:00(雨天中止)
- ・場所：埼玉県朝霞県土整備事務所
(産業文化センターとなり)
- ・内容：11:00~12:00
・周辺の黒目川わくわくウォーキングと魚ウォッチング
11:00~14:00
・川の事業などのパネル展示
・水質調査体験
・新河岸川流域市民活動のパネル展示
・「黒目川水族館」
・伝統とあみ漁法体験
・軽音楽演奏
・模擬店
・有機肥料の無料配布
- ・参加費：無料
- ・主催：埼玉県朝霞県土整備事務所
新河岸川流域の市民団体
- ・共催：埼玉県新河岸川総合治水事務所
- ・お問い合わせ：埼玉県朝霞県土整備事務所
住所 朝霞市浜崎678番地
TEL 048-471-4661
担当 技術管理グループ(遊城、澁谷)

■ 志木まるごと博物館「河童のつづら」 第4回お宝交流シンポジウム 「川にかかわる自然と文化のまちづくり」

志木市内には3本(柳瀬川・新河岸川・荒川)の川が流れています。川にかかわる自然や文化を活かしたまちづくりとは? どんなことができるのか、具体的に考えてみます。

- ・日時：11月12日(日)
13:30~16:30(受付13:00~)
- ・場所：志木市いろは遊学館 2F「視聴覚室」
(埼玉県志木市本町1-10-1)
(TEL048-471-1297)
- ・内容：【基調講演】
「川にかかわる自然と文化と流域経営」
講師：恵小百合先生
(江戸川大学社会学部教授/NPO法人荒川流域ネットワーク代表理事)
- 【話題提供】
志木の崖線ウォーク
天田真さん(河童のつづら館長)
志木の野火止水用ほか
今野美香さん
(志木市生涯教育課・文化財担当)
河童のつづらの未来像と志木
毛利将範さん(NPO法人エコシティ志木)
- 【パネル展示・同時開催】
お宝マップ、柳瀬川水族館、柳瀬川の野草、
志木の野鳥、崖線ウォークの様子など
- 【地粉手作りうどん懇親会・シンポジウム終了後】
シンポジウム終了後、懇親会を行います。
ふるってご参加ください。(参加費別途:1000円)
- ・参加費：500円
- ・主催：NPO法人エコシティ志木
(財)埼玉県生態系保護協会志木支部
- ・後援：志木市、志木市教育委員会
- ・お問い合わせ：048-471-4275(毛利・夜間)
http://homepage3.nifty.com/moh/kappa/

THE SHINGASHI BASIN NEWS

新河岸川流域しんぶん



発行 ● 新河岸川流域川づくり連絡会(荒川下流河川事務所 調査課内)
住所 ● 東京都北区志茂5-41-1 TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346
発行日 2006年(平成18年)9月29日



切り絵 毛利将範

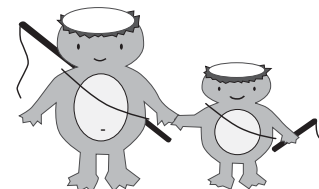
事務局便り

しんぶん「里川」掲載情報を大募集します!

各流域や地域での活動報告やイベント情報を募集しています。身近な情報などをお手紙またはFAX・メールにて事務局までお寄せ下さい。

川づくり連絡会に参加してみませんか?

原則第2火曜日に清瀬市野塩地域市民センター(住所:清瀬市野塩1-322-2)にて開催しています。参加希望の方は右記事務局までお問い合わせください。(開催場所は都合により変更する場合があります。)



■ 連絡先

〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
新河岸川流域川づくり連絡会 事務局
(国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課内)
TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346
URL http://www.ara.go.jp/arage/shingashi/
E-mail shingashi@ara.go.jp

厳しい残暑もようやく和らぎ、朝夕もだいぶ過ごしやすくなりました。早いものでもう秋を迎えます。秋といえば新河岸川流域フォーラムですね! 今号の里川では、フォーラムのお知らせを掲載しています。たくさんの皆さんからの参加をお待ちしています。また、特集では8月に新河岸川流域の各支川で開催された3つの川まつりと9月9日に行われた第11回新河岸川流域川づくり見学会・交流会の様子を報告します。見学会・交流会は、「緑地・湿地の保全と健全な水循環の確保について考える」をテーマに、狭山丘陵の雑木林、谷戸、湿地を見学し、改めて緑地や湿地の大切さを知ることができました。今後もフォーラムをはじめ、さまざまな活動を予定しています。本誌からの発信が皆さんの身近な自然を守る活動への参加のきっかけになれば幸いです。

目次

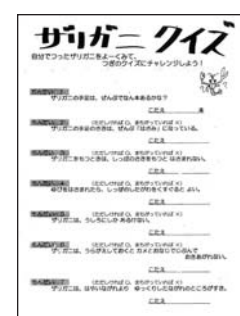
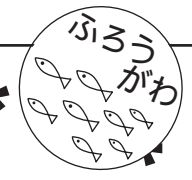
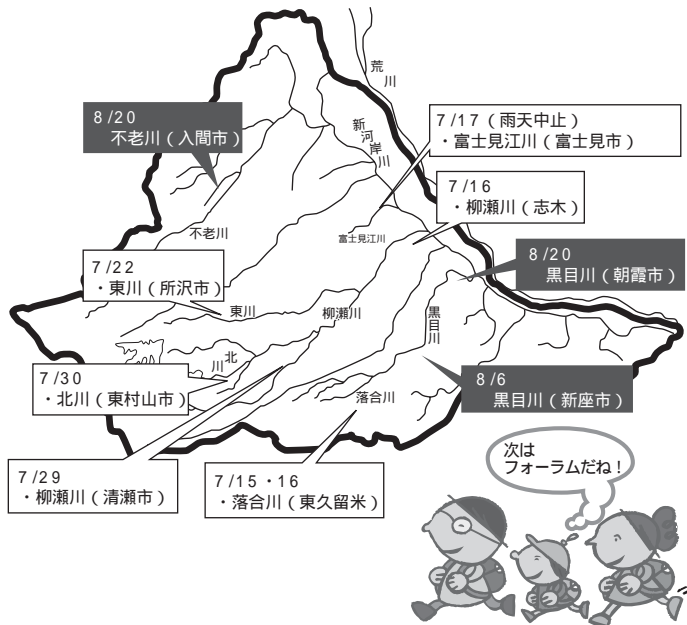
- P 2-3 新河岸川流域川まつり
リレーフェスティバルの報告
- P 4-5 第11回新河岸川流域川づくり
見学会・交流会 ~狭山丘陵~ の報告
- P 6 新河岸川流域フォーラムのお知らせ
- P 7 行政からのお知らせ
- P 8 新河岸川流域情報

報告! 新河岸川流域 リレーフェスティバル!

今年も新河岸川流域の各支川の川まつりをつないだ「新河岸川流域川まつりリレーフェスティバル」が7月から8月にかけて行われました。前号では、7月に行われた5箇所の川まつりの模様を報告しました。今号では、8月に行われた3箇所の川まつりの模様を報告します。

「新河岸川流域川まつりリレーフェスティバル」では、川まつりに参加するとスタンプカードにスタンプを押してもらえます。川まつりのスタンプを2コ以上集めるか、10月14日に開催される新河岸川流域フォーラムのスタンプを応募すると、抽選でステキなプレゼントが当たります。スタンプが2コ以上集まった方は、どしどし応募してね!

今年の新河岸川流域リレーフェスティバル



会場で配られたザリガニクイズ。子供たちはザリガニを観察し、答えを確かめていました

* 不老川 * * * * *

日時：8月20日(日) 11:30 野外音楽会
 場所：大森調節池(入間市) (13:30) ・みゆきバンド
 内容：10:00 開会
 10:15 川あそび開始
 } ・カヌー・ボート
 (12:00) ・水てっぽう作り
 ・水質くらべ
 ・ザリガニとり
 ・水族館(水生生物)
 ・子牛とあそぼ

主催：大森の池まつり実行委員会
 大森調節池の自然を守る会
 不老川流域川づくり市民の会

* * * * *

「第7回 鳥になろう 魚になろう『大森の池まつり』」が入間市の大森調節池で開催されました。不老川流域川づくり市民の会をはじめ、入間市・狭山市、大学、NPO 団体、青年会議所、企業などの協力により、川まつりには450名以上の参加者が集まりました。



「子牛とあそぼう」今年も牛が2頭やってきました。子供たちは子供たちに大人気でした

川まつりは、入間市長、狭山市長の挨拶で始まり、その後、カヌー・ボート、水鉄砲づくり、水質くらべ、ザリガニとり、水族館、魚取りなどさまざまなイベントが行われました。ザリガニクイズでは、子供たちが自分で取ったザリガニを詳しく観察し、問題に答えながら、ザリガニについて学んでいました。



駿河台大学ボート部のお兄さん・お姉さんによるボート指導

また、不老川の歴史と大森調節池の役割について不老川流域川づくり市民の会の方から説明があり、みんなで大森調節池の治水機能について学びました。

当初、魚取りでは魚の数よりも子供たちの数の方が多いのでは、という声もありましたが、川の中に入ると、「ザリガニがいるよ」、「ドジョウを取ったよー」という子供たちの歓声が上がリ、親子で網を片手に一生懸命に魚を探していました。その結果、昨年以上の魚たちを取ることができました。川まつりに参加した親子は、今年もすばらしい夏休みの思い出づくりができたのではないのでしょうか。



ザリガニクイズ。ザリガニの手足は全部で何本あるかな?



ザリガニ、ドジョウ、ギンブナ、不老川にも多くの魚や水生生物がいました

* 黒目川(新座) * * * * *

日時：8月6日(日)
 場所：栗原1丁目公園(新座市)
 内容：9:30 受付
 10:00 代表挨拶
 10:15 清掃の説明
 10:50 水ガキ講座(魚類調査・魚とり)
 12:00 昼食
 12:30 川あそび
 水質調査(透視度)
 14:00 スイカ割り
 15:00 終了

主催：黒目川流域川づくり懇談会
 後援：新座市



【今日の魚類調査】

魚 11種
アユ 22匹
オイカワ 33匹
カワムツ 5匹
コイ 2匹
ウキゴリ 12匹
ドジョウ 1匹
タモロコ 1匹
メダカ 1匹
アブラハヤ 15匹
ウグイ 1匹
ヒメダカ 1匹

【水生生物 2種】
 モクスガニ 1匹
 ザリガニ たくさん



(上) 投網で魚類調査をするスタッフ (下) 網の中には小魚がたくさん

「第8回わいわい川あそび～川をきれいにして川で遊ぼう!」が開催されました。会場となった栗原1丁目公園は黒目川の沿道に位置していることもあり、犬の散歩やジョギングする人などが飛び入りで参加する姿が多く見られました。黒目川の魚を展示している水槽に興味を持った通りすがりの人たちも、展示パネルやパンフレットに目を留め、黒目川に生息する生物や自然の姿に関心していました。川まつりのはじめは川掃除からです。ゴミばさみと軍手を渡された参加者たちは川の中だけでなく、河原や沿道までくまなくゴミを拾っていきます。暑い日とあって一度川に入った子供たちは、川の水の心



「黒目川にこんなに魚がいるの!」と感心する参加者たち



スイカ割りは小さな子から順番に

地よさにおおはしゃぎ。予定より早く終わった川掃除の後には、水ガキ講座です。まずは、3名のスタッフが投網で魚を捕獲し、水槽の中へ。これに続けと手網を片手に参加者がいっせいに魚をとり川へ入ります。とれた魚は水槽に入れ、魚類図鑑で確認。大人の手を借りずに積極的に魚を調べる子供たちも多くみられました。川の楽しさを体験し、川遊びが待ちきれない子供たちの様子に予定を30分繰り上げて川遊びが開始。このあたりの黒目川は浅瀬で、河岸に下りる階段も整備されていることもあり、幼児の参加者も楽しく遊んでいました。ゴムボートを川に浮かべると、率先して中学生の参加者が幼児や小学生を乗せて引いていくなど、川遊びの中で自然と互いを思いやる姿が印象的でした。



小さな子供たちはお姉さんの引くボートに大喜び

* 黒目川(朝霞) * * * * *

日時：8月20日(日)
 場所：新高橋下流左岸の河原(朝霞市)
 内容：10:00 川そうじ
 10:30 ごみ分別・水質調査
 10:50 開会式
 11:00 水ガキ講座(魚とり)
 11:45 魚の説明
 12:00 お昼休み
 12:30 スイカ割り
 13:00 舟あそび(ボート、カヌー) ザリガニとり、水生昆虫観察、水質調査

主催：黒目川・川まつり実行委員会
 後援：朝霞市、朝霞市教育委員会



夏休みも終盤にさしかかった20日の日曜日、「川をきれいにして川で遊ぼう 黒目川 川まつり2006」が開催されました。この川まつりには中高生を中心にボランティアスタッフが数多く参加。そのほとんどは社会福祉協議会のボランティア募集ニュースで応募してきたとのこと。受付を務める中学生ボランティアは、「小学生のときに参加しており、今回はスタッフとして川まつりを支えたい」と、笑顔で参加者に対応していました。



受付は中学生ボランティアが担当



手網を持っていっせいに川の中へ



魚の説明を聞きながら水槽を覗き込む子供たち



こんなに大きな天然ウナギに皆びっくり

【今日の黒目川】

- ・気温 35
- ・COD 4ppm
- ・NO₂-N -
- ・電気伝導度 300ms/cm
- ・水温 25
- ・PH 8.0
- ・NH₄-N -

【今日の水生生物しらべ】

【魚 15種】
 アユ、オイカワ、ボラ、ヤマチチブ、ウナギ、ウキゴリ、アブラハヤ、モツゴ、マハゼ、コイ、ギンブナ、ウグイ、ナマス、ドジョウ、カラドジョウ

【水生生物 3種】
 トウキョウダルマガエル、ミシシビアカミミガメ、スジエビ



イカのおつまみを餌にザリガニ釣り

水ガキ講座では、「網は動かさず川底につけておき、足で上流から魚を追い込みます」とスタッフから説明を受けると手網を持って魚とり開始。水槽に集めた後はそれぞれの魚の名前の由来や特徴が説明されました。午後の部はスイカ割りです。スタートです。舟遊びにザリガニとり、イベントすべてにボランティアが大活躍。スタッフによる鉄板焼きそばや炭火焼鳥などの出店も大繁盛し、増え続ける参加者に地域の夏祭りとして愛されている様子がみとれました。



恒例のカヌー遊びも大人気

第11回新河岸川流域川づくり見学会・交流会 ~ 狭山丘陵 ~

9月9日(土)に第11回新河岸川流域川づくり見学会・交流会を狭山丘陵にて開催しました。狭山丘陵は埼玉県と東京都にまたがる丘陵で東西11km、南北最大幅4kmの広さを持っています。自然と人間の歴史を通じて雑木林や谷戸、湿地といった様々な環境が形成されており、そこに暮らす「いきもの」は植物約1000種、昆虫類約1000種、鳥類約200種といわれ、都市近郊にあって自然の大変豊かな「緑の孤島」といえます。

トトロのふるさと財団によって守られているトラスト1号地やさいたま緑のトラスト保全第2号地(雑魚入樹林地)、昨年度フォーラムを開催した早稲田大学周辺の湿地を見学し、緑地・湿地の保全と健全な水循環の確保について意見交換を行いました。

1 【狭山丘陵雑魚入樹林地】

元トトロのふるさと基金委員会 委員長 荻野さん、チカタの景観を考える会 榎谷さん、早川さん、前トトロ財団評議員 脇さんより、狭山丘陵雑魚入地区の現状と歴史について説明がありました。

狭山丘陵雑魚入樹林地入り口周辺(トトロの森3号地) トトロの森3号地(1252m²)は、1998年にナショナルトラスト活動により取得されました。経緯としては、当時の地主より売却の提案がトラスト団体にあったようです。現在では、明るい雑木林に戻すため、市民レベルでの整備が行われています。

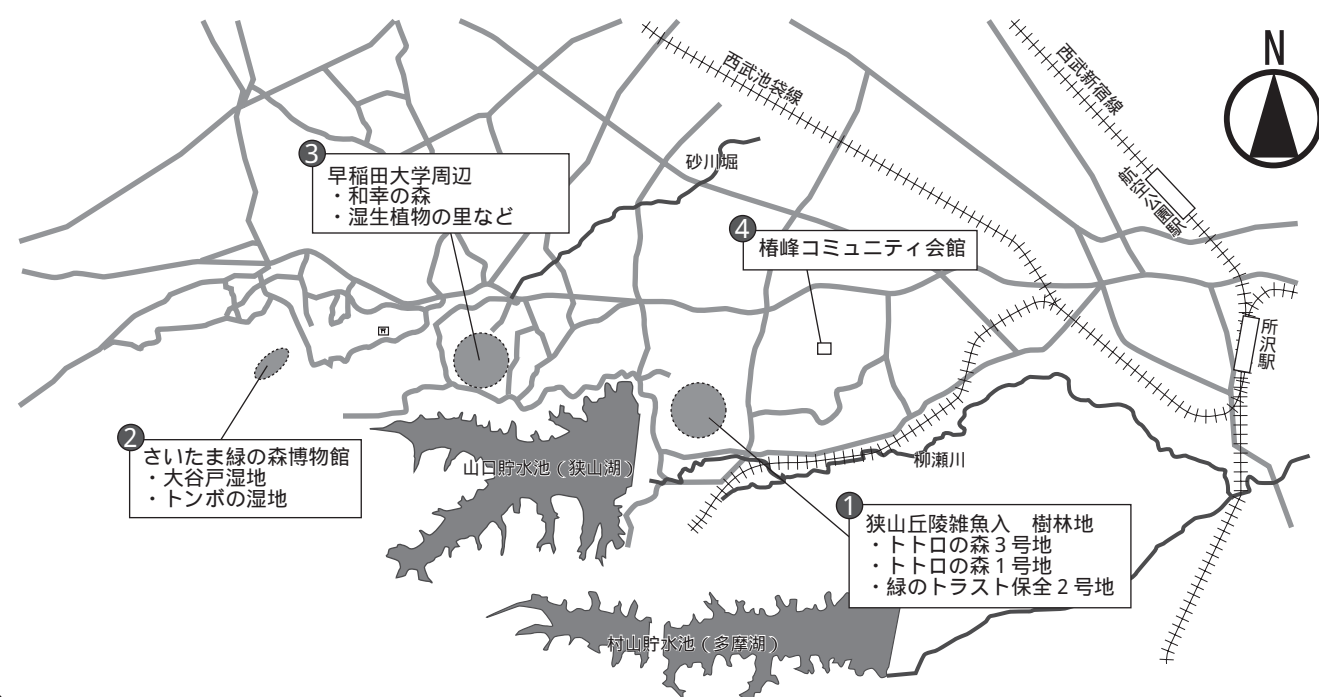
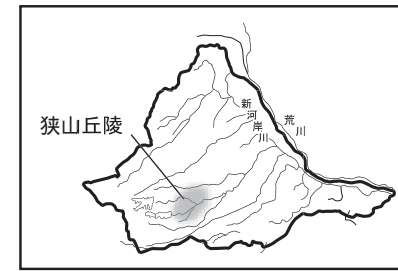
以前に、トトロの森3号地の向かいにある雑木林の開発計画がありました。この雑木林は規模が大きかったため、ナショナルトラストでは対応することができませんでした。

そのため、所沢市に相談し、所沢市の基金により保全されました。このように、ナショナルトラスト活動は大規模なものに対しては対応が困難であるため、行政への働きかけが必要となります。

また、昨年、トトロの森3号地周辺で新たに民有地の売却の広告が新聞・不動産会社のHPに掲載されました。この地区に関しては、出資してくれる方が見つかり保全することができました。このように狭山丘陵は、近年開発が進んでいます。

狭山丘陵雑魚入樹林地(トトロの森1号地) トトロの森1号地(1183m²)は1991年に「トトロのふるさと基金委員会」によって取得された最初の地区です。雑魚入地区では、以前に墓地を建設する計画がありました。

しかし、開発が行われ、この自然に恵まれた広大な地区が開発されては困るとの意見があり、その考えに賛同した全国の人々の協力により、一部の土地を保全しました。当初は、首都圏の高い土地をトラスト活動で購入することは難しいのではないか、との声もありましたが、多くの人の善意により無事購入に至りました。その後、この流れを受けて、所沢市が約10000m²、さらにその後、埼玉県がみどりのトラストとして33837m²の土地を購入し、この地区の保全が行われました。荻野さん曰く、「市民の活動がひとつ石を投げて、その波紋が市、県に広まった」。しかし、その行政も今日では財政の逼迫により以前のように用地を購入することが困難となっています。また説明のなかで、地権者、地域を巻き込んだ取り組みの重要性についてお話がありました。



3 【早稲田大学所沢キャンパス周辺】

早稲田大学自然環境調査室大塚先生より、早稲田大学所沢キャンパス周辺の雑木林および湿地についての説明がありました。

和幸の森 1985年ごろまでキャンパスの隣接地は冷蔵庫などの粗大ごみの捨て場とされ、その後、覆土されました。大学開設後は、周辺に5~6箇所の違法残土処理場ができました。たくさんの残土を捨てさせるため、処理場はV字谷に造られます。こうして、一時期丘陵の谷戸が急激に減少しました。

和幸の森は、平成5年に和幸一さんが市に寄付された18961m²の土地です。和幸の森には、約35年前の伐採時に水源林から外来種であるニセアカシアが侵入し、成長が早く樹高が高いため、雑木林の本来の構成種であるコナラやアカシ

デなどから光を奪い、いじけさせてしまっています。そのため、ニセアカシアは雑木林の多様性を脅かしています。ニセアカシアは根萌芽が増えるため、伐採するだけでは退治できません。雑木林に手を入れることが、多様性を維持するためには最も重要です。

湿生植物の里 湿生植物の里では、ミヤマシラスゲを観察することができました。このミヤマシラスゲは、他の草とは異なり12月末まで緑色を保つことが出来ます。このため、狭山丘陵のカヤネズミは他の地域よりも遅くまで繁殖を継続することが出来ます。湿生植物の里では、オニヤマも見ることができました。その後、オオタカの巣も見ることができました。



(上) 和幸の森の石碑 (右) タヌキのため糞は餌などの情報を得るためのインフォメーションセンターのような役割を果たすと考えられています

2 【さいたま緑の森博物館・大谷戸湿地】

さいたま緑の森博物館は、今年4月より指定管理者制度を採用し、民間企業により運営・維持されています。さいたま緑の森博物館のスタッフより、博物館で開催されている稲作体験や小鳥の巣箱作り、しいたけ栽培、雑木林管理の体験について紹介がありました。



(左) さいたま緑の森博物館 大谷戸湿地を見学 (右) 博物館内の資料室で説明を聞きました



(上) 現在でも、循環型農業のため、下刈りや落ち葉がきが行なわれている林はきれいだ (右) 明るい雑木林特有の低木「クロモジ」は、高級楊枝の材料にもなり、いい匂いがします

4 交流会 【榎峰コミュニティ会館 第2会議室】

緑地・湿地における水循環について

・狭山丘陵の緑地・湿地が減少していると言われていたが、緑地・湿地にはどのくらいの保水能力があるのか。緑が豊かであればあるほど保水能力が高く、都市化が進むにつれて保水能力が低下し、流出が増加する。B地区湿地での研究成果によると、同地区では、降った雨の約90%が地下水として浸透し、残りが表面流出していることが確認されている。



・東川では、湧水のポイントが埋め立てなどにより減少している。この開発に伴い、河川の流量も減少している。

保全活動について

・大学が一生涯懸命頑張って保護している雑木林を見学することができ、有意義であった。

水質について

・河川に放流する際の基準に、電気伝導度が含まれていない。処分場で埋め立てられた焼却灰等により、地下水の電気伝導度は高くなる。所沢市内には西部浄水場を含め数箇所地下水を汲み上げ、上水として利用している場所もある。

埋め立てについて

・昔、谷戸は豊富な湧水を利用して水田などとして利用されていましたが、近年は、狭いので農地として効率が悪く次第に耕作されなくなりました。宅地としても日当たりが悪く利用しにくいので、埋め立てが行われ、畑として利用された。また、残土処理等を理由に、埋め立てが行われ、谷戸が減少してきた。谷戸を保全するために、谷戸の価値をさまざまな角度から調査し、残された湿地の重要性を広く訴えていく必要があると感じる。

説明者について

・トトロのふるさと基金委員会 委員長であった荻野さんに説明いただき、トラストの歴史や努力して克服された課題などが大変よく分かった。

その他

・不法投棄など人間のモラルについても非常に考えさせられる見学会であった。

アンケート

- ・現地事情に詳しい人の説明を聞いて大変よかった。
- ・単独で行った場合は「単に良い自然を見た」というだけで終わっていたが、歴史的経過を含めてより実態の理解が進んだような気がする。
- ・河川を考える時、今回の見学会で、その流域の重要性を改めて痛感した。
- ・大変勉強させていただきました。湿地保全が川の保全に役立つことを確認した。
- ・緑地・湿地保全について多くの皆さんの努力があって守られていることが非常に良く分かりました。
- ・時間をかけて、自然保護、谷戸の生態系の特殊性について皆で考え、意見交換の必要があるように思いました。
- ・湿地谷戸には、水生動物・植物が多くいるので保全し、将来まで残してほしい。

新河岸川流域フォーラム 平成18年 10/14(土)

流域のたからもの～緑地の保全について考えてみよう!

日時：10月14日(土)
12:30～17:00(受付12:00～)

場所：中清戸地域市民センター(右図参照)

プログラム

- ・第1部 ウォーキング
柳瀬川沿川の平地林を主な見学対象として、流域内において様々な手法によって保全されている緑地の現状を観察します。
- ・第2部 パネルディスカッション
緑地の保全事例の紹介を通じて、保全手法に関する理解を深めます。また、新河岸川流域における平地林保全の問題点やこれからの保全のあり方について、有識者や市民、行政関係者を交えてのディスカッションを行います。

新河岸川流域フォーラムに参加希望の方は

申込み方法：
メールまたはFAXで下記申込先までお申込みください。

【申込み先】

日本工営株式会社 総合防災室内
〒102-8539
東京都千代田区麹町5-4
TEL: 03-3238-8257 / FAX: 03-3238-8254
E-Mail: a6298@n-koei.co.jp

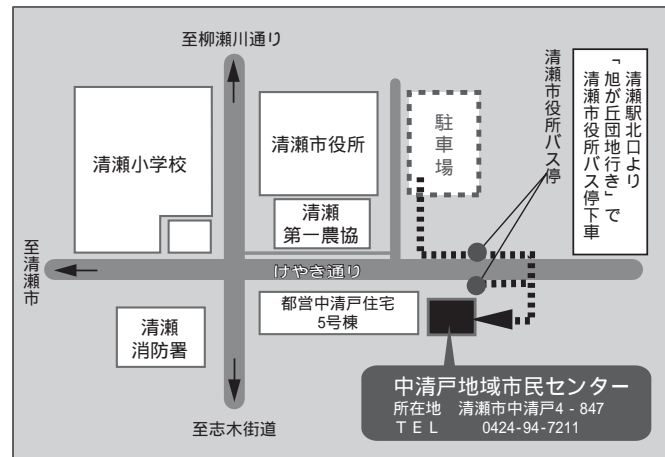
応募締め切り：10月6日(金)
事前申込制先着70名様

参加費：無料

— 新河岸川流域フォーラム主催・共催団体 —

新河岸川流域総合治水協議会
国土交通省関東地方整備局/埼玉県/東京都/所沢市/朝霞市/入間市/さいたま市/川越市/狭山市/志木市/新座市/富士見市/和光市/三芳町/ふじみ野市/板橋区/北区/練馬区/清瀬市/小平市/立川市/西東京市/東久留米市/東村山市/東大和市/武蔵蔵村山市/瑞穂町
新河岸川流域川づくり連絡会
国土交通省荒川下流河川事務所/不老川流域川づくり市民の会/砂川流域川づくり懇談会/柳瀬川流域ネットワーク/黒目川流域川づくり懇談会/白子川流域の水環境を良くする会

新河岸川流域の沿川には様々な緑地が存在しています。これらの緑地は保水機能や減災機能等があり、川と密接に関係しています。近年緑地の保全について様々な観点から議論が行われていますが、平地林については特に減少傾向にあるため、その保全について考える必要があると思われます。そこで今回のフォーラムでは「沿川の平地林保全」をテーマとして、保全状況の観察や保全手法の知識の共有等を通して、新河岸川流域の平地林保全のこれからについて考えます。



時間	内容
12:00～12:30	受付
12:30	開会
12:30～12:35	あいさつ
12:35～12:45	当日の説明
第一部 12:45～15:15	ウォーキング 中清戸地域市民センターからAコース、Bコースに分かれ、様々な手法で保全された緑地を観察 Aコース：中里一丁目緑地、清瀬中里緑地保全地域、清瀬金山緑地公園、清瀬御殿山緑地公園の順に歩きます。 Bコース：清瀬御殿山緑地公園、清瀬金山緑地公園、清瀬中里緑地保全地域、中里一丁目緑地の順に歩きます。
第二部 15:45～17:00	パネルディスカッション テーマ：「新河岸川流域における平地林の保全」 司会：宮本善和(柳瀬川流域ネットワーク) パネラー：恵小百合(NPO法人荒川流域ネットワーク代表)、大石章(財団法人さいたま緑のトラスト協会ボランティアスタッフ)、宮澤とよ美(川づくり・清瀬の会)、中澤弘行(清瀬市企画部)
17:00	閉会

雨天時には、ウォーキングが中止になることがあります。

新河岸川流域フォーラムは、総合治水対策を含めた健全な水循環形成の意義・重要性等について、広く一般の方に理解を深めてもらうことを目的に、川づくり活動への参画、行政と市民、市民団体間のコミュニケーションの活性化と連携を深めるため、毎年開催しています。

国土交通省からのお知らせ

荒川知水資料館(amoa)からのお知らせ

荒川知水資料館(amoa)では荒川に触れることが出来る機会として年間を通じて様々な催事を開催しています。

◆ 荒川写真コンテスト

～あなたが大切にしたいと思う「荒川」の写真を投稿してください～

「荒川の残したい風景、守りたい自然」をテーマとし、荒川ならではの広がりのある風景や、年月とともに大きく変わってきた都市の中の貴重な自然など、あなたが大切にしたいと思う「荒川」の写真を投稿してください。投稿していただいた写真の中から、優秀作等の選定を行い、荒川知水資料館及びホームページA R Aで公表を行います。

- ・応募期間：平成18年7月25日～平成18年12月24日
- ・応募方法：応募方法は以下の3通りがあります。どの方法で応募していただいても構いません。

A. カメラ付き携帯電話でのメールによる投稿

カメラ付き携帯電話で「荒川」を撮影。
撮影した画像を添付し、pic@ara.or.jpへ送信。
メールが返信されてきます。
撮影場所などの情報を入力して返信し、投稿完了。

B. au GPS 携帯電話アプリケーションからの投稿(機種制限あり)

以下のau携帯電話をお持ちの方は、電話番号を登録すれば専用のアプリケーションから投稿することができます。

【対応機種】W31T / W32T / W42CA / W41K / W41S

【電話番号の登録方法】

・氏名 ・携帯電話番号 ・機種 を明記の上 tel@ara.or.jpまでメールを送信してください。ダウンロード方法などを返信させていただきます。

C. デジタルカメラによる持参

撮影したデータをデジタルカメラの各メディア(CD、miniSD、USBメモリなど)に入れて荒川知水資料館へ持参してください。保存形式はJPEGのみ、データ容量は1MB以下とします。コンピュータで画像処理(加工)した作品は不可です。但し、応募サイズに縮小することはできます。また多少のトリミングに関しては可能とします。入賞は一人1点に限らせていただきます。詳しくは、荒川河川下流事務所のホームページをご覧ください。
<http://www.ara.go.jp/ara/page/>

・展示場所：荒川知水資料館 1F(『エコノス』にて随時展示)

・懸賞 最優秀賞 1点：デジタルカメラまたはご希望のau携帯電話
優秀賞 3点：SDメモリーカードまたはminiSDカード

◆ 「水の都市 東京の生い立ちと荒川」展

2006年1月から約1ヶ月間にわたり江戸東京博物館(両国)で開催された「東京エコ・シティ 新たなる水の都市へ」展は、江戸時代以来の東京の水辺空間の変遷と現在の姿を紹介し、「水の都市、東京」の新しい都市形成に向けての提案を行うもので、大変好評を博し終了しました。

荒川知水資料館ではこの度、その展示物の一部をお借りし、再構成ののち展示する運びになりました。

日本橋上の高速道路問題や観光資源としての運河の見直しなど、いま水辺空間が再び注目され始めています。また近年多発する豪雨や水害も、水の都市に住む私たちにとって切り離すことのできない問題です。「水の都市」東京と荒川の未来像をこの展示物を通して一緒に考えませんか? 東京の水辺空間を中心に作成された地形模型は圧巻です。是非ご覧ください。

・開催期間：平成18年11月1日～平成19年3月25日
(会期中展示替えあり)

・開催会場：荒川知水資料館2F企画展示コーナー



江戸東京博物館での展示風景

問合せ先

〒115-0042
東京都北区志茂5-41-1
荒川知水資料館
【TEL】03-3902-2271
【メール】amoa@arago.jp
【開館時間】9:30～17:00(月曜日を除く)
(月曜が祝日の場合は火曜休館)